

思考力を問う新たな潮流

私立中学入試はここまで進んでいる！

ブロックを使って創造的に考えて表現したり、より良い社会のために未来のサービスを考えたり…
今、私立中学校ではさまざまなユニークな入試が行われています。このような入試が行われる背景と理由についてご紹介します。

取材・文／藤崎雅子

【問】
もし、あなたが、ザビエルだとしたら、布教のために何をしますか。具体的な根拠と共に400字以内で説明しなさい。

こんなテスト問題を、みなさんは生徒に出題するだろうか？ みなさんの生徒は難なく解答するだろうか？

今、首都圏を中心とした私立中学入試には、このように「正解」が1つではない問題を出す、新タイプの入試が増えている。その具体例として、2つの私立中学の入試を紹介しよう。

ブロックも取り入れ 思考力、表現力を測定

東京都にある私立聖学院中学校は、従来の4科(国語・算数・理科・社会)・2科(国語・算数)入試に加え、2種類の思考力入試を実施している。

その1つは、ブロックを使って考えたことを表現する「思考力ものづくり入試」だ。過去の出題では、まず、自分の得意なことと、タイに関する資料から見える問題点の解決策について、それぞれブロックで表現。ブロックで表現したものをもとにして、1500字程度の文章に表すことが課せられた。

ここで用いるレゴ®シリアスプレイ®は、学びや研修、ビジネスの場で活用されているツールだ。内面にある価値観やビジョンなどを可視化させるのに効果的とされている。その推進団体にトレーニングを積んで公認ファシリテーターの資格を取り、技術科の授業にも取り入れている内田真哉先生が、この入試を担当する。

「受験者の解答には、大人にはない発想も。その理屈は納得できるもので、なるほどそういう方法もあるかと気付かされます」(内田先生)

「思考力ものづくり入試」は思考力のなかでも創造的思考を要するが、同校が実施するもう1つの「思考力+計算力入試」は、批判的思考を重視した選考だ。こちらの思考力テストの今年度のテーマは、ミャンマーのある民族の生活。複数の写真や資料から情報を引き出し、自分のもつ知識を合わせて「新たな問い」(疑問)として再構成したうえで、自分の考えを2000字程度の文章にまとめるという内容だった。

2つの思考力入試の評価方法の検討は、「聖学院の教育は何を大事にしているか」を話し合うことからスタートする。評価の軸とした「INPUT」「THINKING」「OUTPUT」にひもづく「情報の読み取り」「発想・創造力」などの評価項目を設定し、各項目のグレードの基準を明文化(図1)。そこから入試問題に合わせてルーブリック表を作成し、入試当日の採点はそ

れを用いて、1人の受験生に対して5人の教員で行う(全体で15人)。

テストの点数だけでなく 多様な視点で生徒を見るように

同校が思考力入試を創設したのは5年前。従来の教科の知識を正確に積み上げて得点する子だけでなく、これから伸びるポテンシャルのある子を発掘するのが狙いだ。立ち上げ時から思考力入試を担当する本橋真紀子先生は、根底には同校が長年大切にしてきた教育理念があるという。

「2つの思考力入試では協働的思考を求めている、どちらも社会課題に対して自分は何ができるかを考えさせる出題内容になっています。なぜなら本校には、自分らしきとともに他者を尊重する『Only One for Others』の理念があるからです。自分だけ高めるのではなく他者への理解と尊重ができる生徒は、本校で大き





聖学院中学校



技術科主任
内田真哉先生



数学科主任
本橋真紀子先生



21教育企画部部长
児浦良裕先生



副校長・入試広報部長
清水広幸先生

ブロックを使って



この国の課題の
解決策を表現せよ

聖学院中学校「思考力ものづくり入試」問題

【問1】

「自分の得意なこと」をLEGOで表現しなさい。また、出来上がった作品について150字程度で説明をしなさい。

【問2】

資料を見て、この国(A)で起きている問題は何かを考え、その解決策をLEGOで表現しなさい。また、出来上がった作品について150字程度で説明をしなさい。

【問3】※

問2で制作した解決策を示す作品に問1で制作した自分の得意なことを付け足し、解決策に自分はどのように関わることができるかを表現しなさい。また、出来上がった作品について150字程度で説明をしなさい。



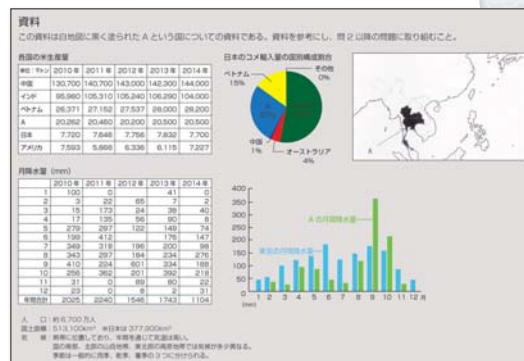
実際の入試で受験生が作成した作品。得意な野球(中段写真右側)と、巨大な船で国外脱出するという問題解決策(同左側)をブロックで制作。これを踏まえ、問3はこう解答した。

【問3解答例】

「脱出するためには船を作る材料や脱出中の食料などいろいろお金が必要です。そのお金を集めるためにぼくや野球をする人たちがたくさん試合をします。その試合でお客さんをいっぱい集め、試合を見るお金をA国に渡せば脱出が実現できると思います。人と人が助け合えば多くの人が生きていけると思います」



今年の思考力入試の採点担当者は15人。均一に評価できるよう、研修などで目線合わせを図って臨んだ。



※2017年度入試よりリフレクションを目的とした作文の出題へ

図1 思考力入試における評価項目と評価基準例

INPUT

- 情報の読み取り(抽出、比較分類、統合)
- 知識を活用する力
- 人の話を聞く姿勢

THINKING

- 発想・創造力
- 試行錯誤する姿勢・粘り強い姿勢
- 協働性・他者理解

OUTPUT

- 言語表現力(論理性)
- レゴ表現力(創造性)
- 振り返る力・客観視する力

ルーブリック例

G1

- アイデアを1つは出せる

G2

- アイデアを複数出すことができる

G3

- ひとつのアイデアをもとに新しいアイデアを連想することができる

G4

- 複数のアイデアを組み合わせ、独創的なアイデアを出している

「現在、聖学院という安心できる場で、生徒一人ひとりが輝く教育が実践されていると自負しています。しかし、これからのグローバル社会を見据えると、さらなるステップアップも必要です。学校内にとどまらず、大海

来年度は新たに、批判的思考と創造的思考の両方を問う「難関思考力入試」の開始が計画されている。

「現在、聖学院という安心できる場で、生徒一人ひとりが輝く教育が実践されていると自負しています。しかし、これからのグローバル社会を見据えると、さらなるステップアップも必要です。学校内にとどまらず、大海

く伸びるだろうと期待しています」

思考力入試による入学者のその後の姿について、本橋先生はこう語る。

「実施前は、従来の4科・2科入試を経ずに入学して、授業についていけないのかという不安もありました。しかし実際は、入試方法による入学後の成績の差は見られません。むしろ、思考力入試で個性豊かな解答をした生徒は、授業でよい質問をしたり、クラスの雰囲気をよくしてくれたりしています」

また、思考力入試の実施は、教員側の意識の変化にもつながった。21教育企画部部长・児浦良裕先生はこう語る。

「ルーブリックを使ってさまざまな角度から生徒を評価することで、それまで目が向きにくかった子どもの良さに気付けるようになったという声が複数あがっています。生徒の多様な面を認めて伸ばしていこうという雰囲気、さらに一歩進みました」



石川学院長の著書「2020年の大学入試問題」(講談社現代新書)と「2020年からの教師問題」(ベスト新書)



香里ヌヴェール学院中学校



学院長
石川一郎先生

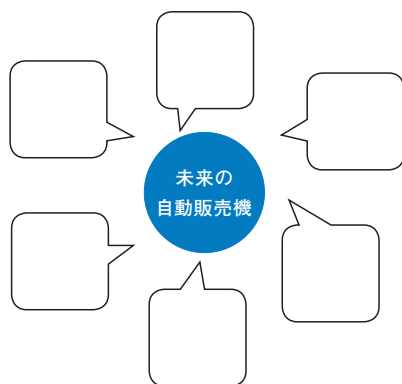
Q 未来の自動販売機を創造せよ

に向けて自ら一歩を踏み出せる。そんな生徒を発掘して育んでいくために、新たな思考力入試を行いたいと考えています」(児浦先生)

香里ヌヴェール学院中学校の「思考力入試」問題

【ウォーミングアップ】

未来の自動販売機から連想する言葉を、できるだけ多くふきだしの中に書きましょう。



【問1】

現在、私たちは「ジュース」「切符」など様々なものを自動販売機で買うことができます。その他に、どのようなものを買うことができますか。3つ以上あげましょう。

【問2】

問1であげたものが売られている自動販売機は、どのような場所にありますか。また、だれが、いつ利用しますか。具体的な場面を想像して書きましょう。少なくとも1つは答えること。なお、「ジュース」「切符」を選んでもかまいません。

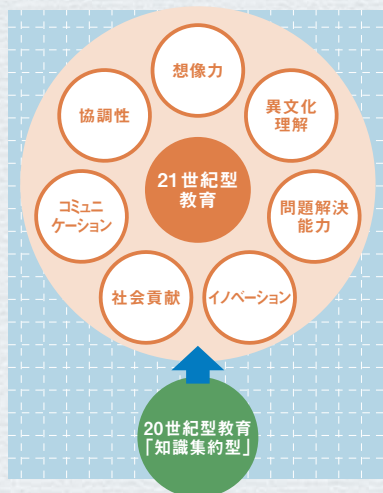
【問3】

問1、問2であげたもの以外に、もし、あなたが何かを自動販売機で売るとすれば、何を売りますか。それは、なぜですか。少なくとも1つは答えること。

【問4】

より良い社会のために、あなたがこれから新しい自動販売機をつくるなら、どのような自動販売機をつくりませんか。また、なぜそう考えましたか。理由も含めて200字以内で書きましょう。なお、問3で考えたものでもかまいません。

図2 香里ヌヴェール学院が目指す21世紀型教育



思考力入試開始の背景に プロジェクトベースの教育

2例目に紹介するのは、大阪府にある私立香里ヌヴェール学院中学校。今年度初めて「思考力入試」を

実施した。入試問題の話の前に、その導入の背景にある学校改革をふまえておきたい。

昨年度まで大阪聖母女学院という女子校だった同校は、今春、「21世紀型教育」の推進を掲げ、校名も新たに、共学校として生まれ変わった。昨年からは学院長に就き学校改革を推進しているのは、前任校の私立かえつ有明中学・高校における実践などにより、21世紀型教育の牽引者として知られる石川一郎先生だ。

「本学院は、生徒一人ひとりが神から与えられた自分の可能性を引き出し、それを最大限に社会で活かせる人を育てようと創設された学校です。根本は、知識の詰め込みではなく社会で生きるための力を大切にします。21世紀型教育の精神に通じています。21世紀型教育を掲げた今回の学校改革は、決して方向転換ではなく、

学院創設の原点を大切にしていこうという動きなのです」(石川学院長)

具体的には、問題解決力の育成、

英語力の養成、ICT活用による学習支援の3本柱に力を入れる。なかでも中核となる問題解決力の育成のためには、さまざまな教科でPBL (Project Based Learning) の手法を取り入れ授業改善を図っていく。

「人は生きていくうえでさまざまな課題に直面します。日本語の『課題』にはプロブレムとプロジェクトの2つの意味が含まれますが、生徒に取り組ませたいのはプロジェクトのほうです。例えば、『Aー(人工知能)の登場によって仕事を失わないためにどうするか』ではなく、『Aーに仕事を任せることではどんな新しい生き方ができるか』を考えるのがプロジェクトです。そんな創造的な課題に取り組み力を育みたいと考えています」(石川学院長)

もっている知識やスキルを 組み合わせることで最適解を導く

同校が今春から始めた「思考力入試」は、まさに「プロジェクト」への取り組みといえる。今年度の出題テーマは「未来の自動販売機」。まず、ウォーミングアップとして「未来の自動販売機」から連想する言葉をできるだけ多く書き出させる。そのうえで、問1では現在の自動販売機に関



紹介した2校の他にも、4科・2

新タイプ入試実施校は 3年間で3倍に

「自分の人生をどう生きるかには正解はありません。学校ではもちろん正解のある学びも必要ですが、正解のないことに対して、もっている知識やスキルを組み合わせて最適解を出せる力の育成はとても大切です。それにつながる入試であり、学校であることを目指しています」(石川学院長)

実際に受験生が書いた自動販売機のアイディアには、個性的な解答がいくつもある。「おむつを売る自動販売機」や「お年寄りのために背の低い自動販売機」などは、年下のきょうだいや祖父母との生活経験から出たと思われる、子どもならではの目線が生きている。また、「A」に相談しながら買う物を選ぶ自動販売機」といった現代社会をとらえたアイディアもあり、教員を驚かせたという。

「自分の人生をどう生きるかには正解はありません。学校ではもちろん正解のある学びも必要ですが、正解のないことに対して、もっている知識やスキルを組み合わせて最適解を出せる力の育成はとても大切です。それにつながる入試であり、学校であることを目指しています」(石川学院長)

科の知識だけを問う入試とは異なるさまざまな入試が生まれている。その場で与えられた課題に対して自分の意見や発想をまとめたり、図書館の資料を使ってレポート作成したり、自分の学習歴に関するプレゼンテーションを行ったり…各校が工夫をこらして知識量だけではない多様な力の評価を試みている。

こうした新タイプ入試は今、首都圏私立中学校を中心に急速に拡大。17年度の首都圏での実施校数は、3年前の3倍だ(図3)。首都圏の全体の受験者数は、07年の約5万人をピークに減少傾向にあったが、14年を境に3年連続で増加している。中学入試模試を行う首都圏模試センターの教務情報部長・北一成氏は、その背景に新タイプ入試があるという。

「従来の知識蓄積型の内容ではない新タイプ入試の登場は、塾通いをしてこなかった児童にも受験機会を広げています。それが受験者数全体を押し上げていると考えられます」

さらに今後も新タイプの入試の拡大は続くとして北氏は予測する。その理由の1つは、保護者の意識の変化だ。「いわゆるミレニアル世代(2000年以降に成人あるいは社会人になった世代)と呼ばれる最近の小学生の保護者層の価値観は、競争が激しかった団塊の世代やベビーブーム世代と

は大きく違ってきます。若いほど『歴信仰』は薄まり、変動の激しい時代を生き抜く力により重きを置いていると感じます。今後はこのような考えの保護者のもと、新タイプ入試の受験者が増えていくでしょう」

問題に取り組む力を 「思考コード」に分類すると…

首都圏模試センターはこうした動きに対応するため、さまざまな問題に取り組み際に必要な力を「思考コード」として整理し、模試結果の診断や分析に活用している。その考え方のベースにあるのは、思考が発達していく階層を示したブルームのタキソノミー理論で、いくつかの私立中高一貫校でもそれぞれ独自の思考コード(ルーブリック)を作成している。

首都圏模試センターの「思考コード」の横軸は思考レベルを表す。Aは知識・理解思考、Bは論理的思考、Cは創造的思考だ。縦軸はそれぞれの問題難度を示すもので、数字が大きくなるほど難度が高くなる。この「思考コード」に中学入試問題の傾向を当てはめてみると、中堅校の従来型問題はA・B領域中心、新タイプの思考力入試はB・C領域中心だ(図4)。

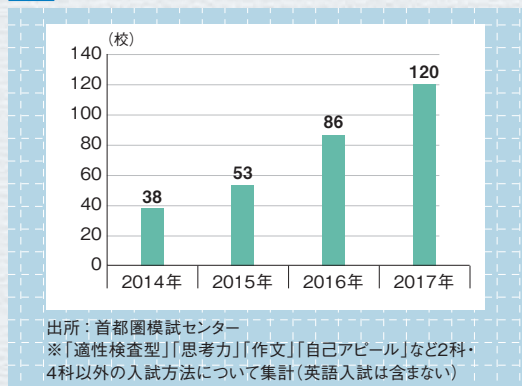
では、それぞれの領域の力を測るのは、具体的にどんな問題か。首都

図4 首都圏模試センターの「思考コード」で見る入試問題

標準的な私立中学入試の問題				思考カテストの問題		
問題難度 ↑	変換操作	全体関係	変容3	A3	B3	C3
	複雑操作	カテゴリー	複雑2	A2	B2	C2
	手順操作	単純関係	単純1	A1	B1	C1
	(数)	(言語)		A	B	C
				知識・理解思考	論理的思考	創造的思考
				知識・理解	応用・論理	批判・創造
				思考レベル→		

出所：首都圏模試センター

図3 新タイプ入試実施校数の推移(首都圏)



首都圏模試センター



取締役・教務情報部長
北 一成氏

図5 「思考コード」のカテゴリー別 ザビエルをテーマにした設問例

変容3 複雑2 単純1	A3 A2 A1	B3 B2 B1	C3 C2 C1
変容3	ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選び年代の古い順に並べなさい。	キリスト教の日本伝来は、当時の日本にどのような影響を及ぼしたのか、200字以内で説明しなさい。	もし、あなたが、ザビエルのように知らない土地に行って、その土地の人々に何かを広めようとする場合、どのようなことをしますか。600字以内で答えなさい。
複雑2	ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選びなさい。	キリスト教を容認した大名を一人あげ、この大名が行ったこと、その目的を100字以内で説明しなさい。	もし、あなたが、ザビエルだとしたら、布教のために何をしますか。具体的な根拠と共に400字以内で説明しなさい。
単純1	(ザビエルの肖像を見て)この人物の名前を答えなさい。	ザビエルが日本に来た目的は何ですか? 50字以内で書きなさい。	もしあなたが、ザビエルの布教活動をサポートするとしたら、ザビエルに対してどのようなサポートをしますか。200字以内で説明しなさい。
	A 知識・理解思考	B 論理的思考	C 創造的思考

出所：首都圏模試センター

圏模試センターは、「フランシスコ・ザビエル」を共通の題材として、「思考コード」の9ブロックに合わせた例題を作成している(図5)。A領域の問題は、「誰か」「いつか」など、知識そのものや知識を理解し運用できているかを問うもの。B領域の問題は、情報を分析・整理したり、論理的に説明したり、文章表現も必要となる。C領域の問題は、「もし、あなたがくだったら」のような、情報を再構成

して自分の考えを表現するものだ。実は、本記事の冒頭で示した「もしあなたがザビエルだとしたら…」という問いは、この「C2」にあたる。解答には、人物や時代背景に関する知識に自分の考えを加えて再構築し、文章表現することが求められる。

現代社会を生きるのに必要な力を育む

なぜ今、「思考コード」でいうC領域

の創造的思考力が大切か。前任校で独自の思考コードの開発に携わり、香里ヌヴェール学院でもその開発を目指している石川学院長はこう語る。「世の中にある仕事のガリを握るのは、C領域の力です。ICTの進展で人の働き方が変わると言われていますが、A領域やB領域にある仕事は真つ先にAに置き換えられてしまいかもしれません。そんななか、正解のない問題に対して人間ならではのクリエイティブな思考力を育成することが、今後は一層、重要になってくるでしょう」

社会に視点を置いている点は、聖学院中学も同じだ。社会を意識するのは大学に入ってからでは遅い、と副校長・清水広幸先生は指摘する。

「中学時代からおおらかに自分の意見を言う体験を積み重ねることで自己肯定感を高め、論理的思考力や表現力とともに、しっかりと自分軸をもつようになります。そのうえで大学進学し、どんな世界に出て経験を積み、日本を変える力を育んでほしいと願っています」

大学入試改革と同じ方向を向いて

大学入試に目を向けると、やはり現代社会を踏まえて、知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、

主体性・多様性・協働性も含めた学力を多面的・総合的に評価しようと改革が進められている。紹介した各中学校は教育理念を軸に、これから社会に即した教育改善の流れのなかで新タイプ入試を生み出し、結果として大学入試改革の方向性と重なった。

「聖学院は、入試という入口の部分でだけ思考力を重視しているわけではなく、教育理念に基づき『育てたい生徒像』を全教員で共有し、学年段階ごとの『状態目標』も設定し、6年間かけて思考力を伸ばそうと取り組んでいます。大学入試がどう変わろうと、本校の教育は揺るがないでしょう」(清水副校長)

国主導の大学入試改革と並行して私立中学の現場から起こった動きは、日本の教育全体にどう影響するだろうか。

「かつてのゆとり教育のような揺り戻しが起こる余地もないくらい、今はグローバル化やICT化などによる社会の変化が鮮明になっています。私たちの願いは、そんな社会で子どもたちが幸せな生き方をすること。そのために教育は相当変えていかなくてはならない。きつと変わるだろうと信じています」(石川学院長)